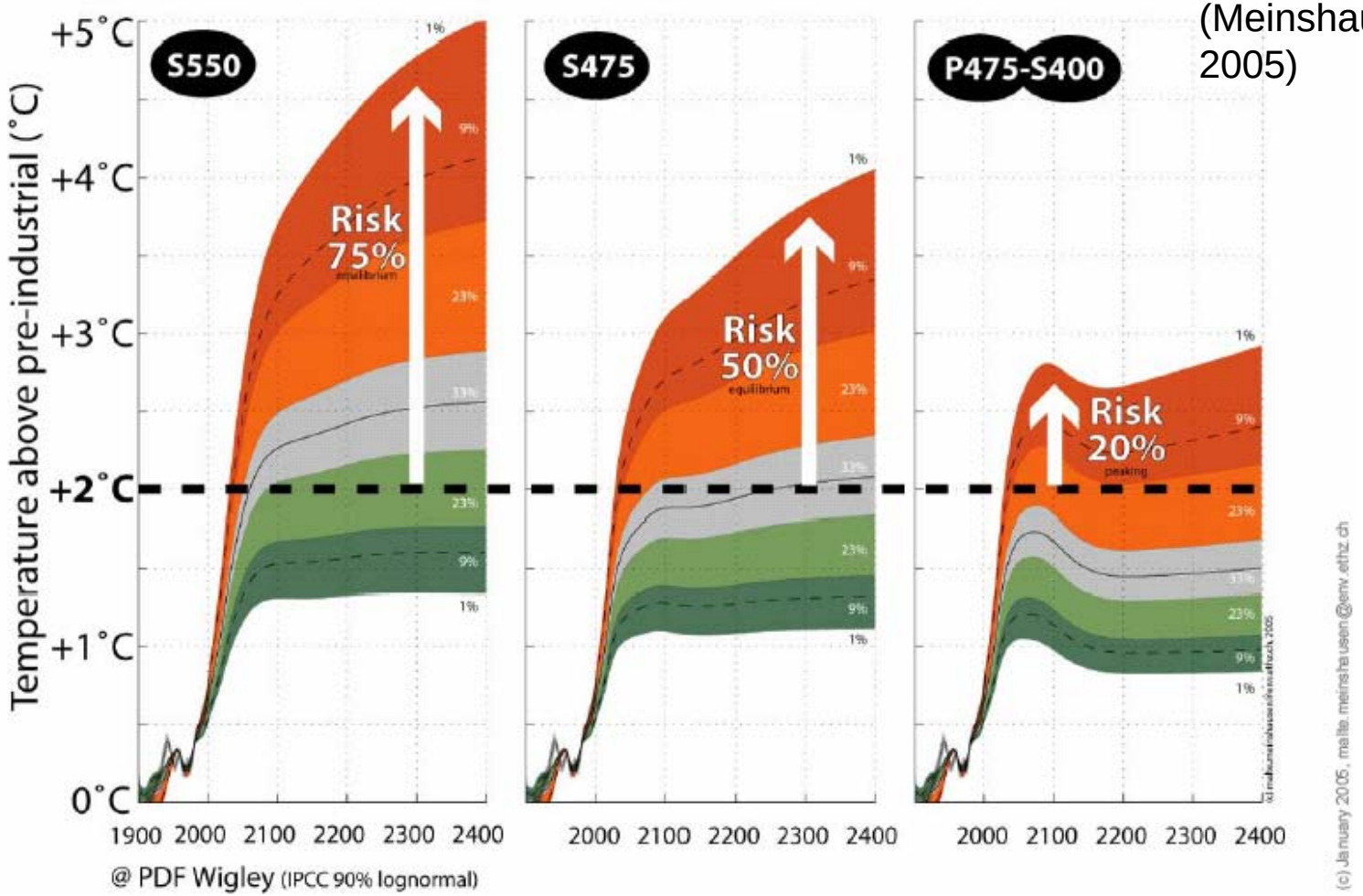
Risk decreases for lower peaking / stabilisation levels

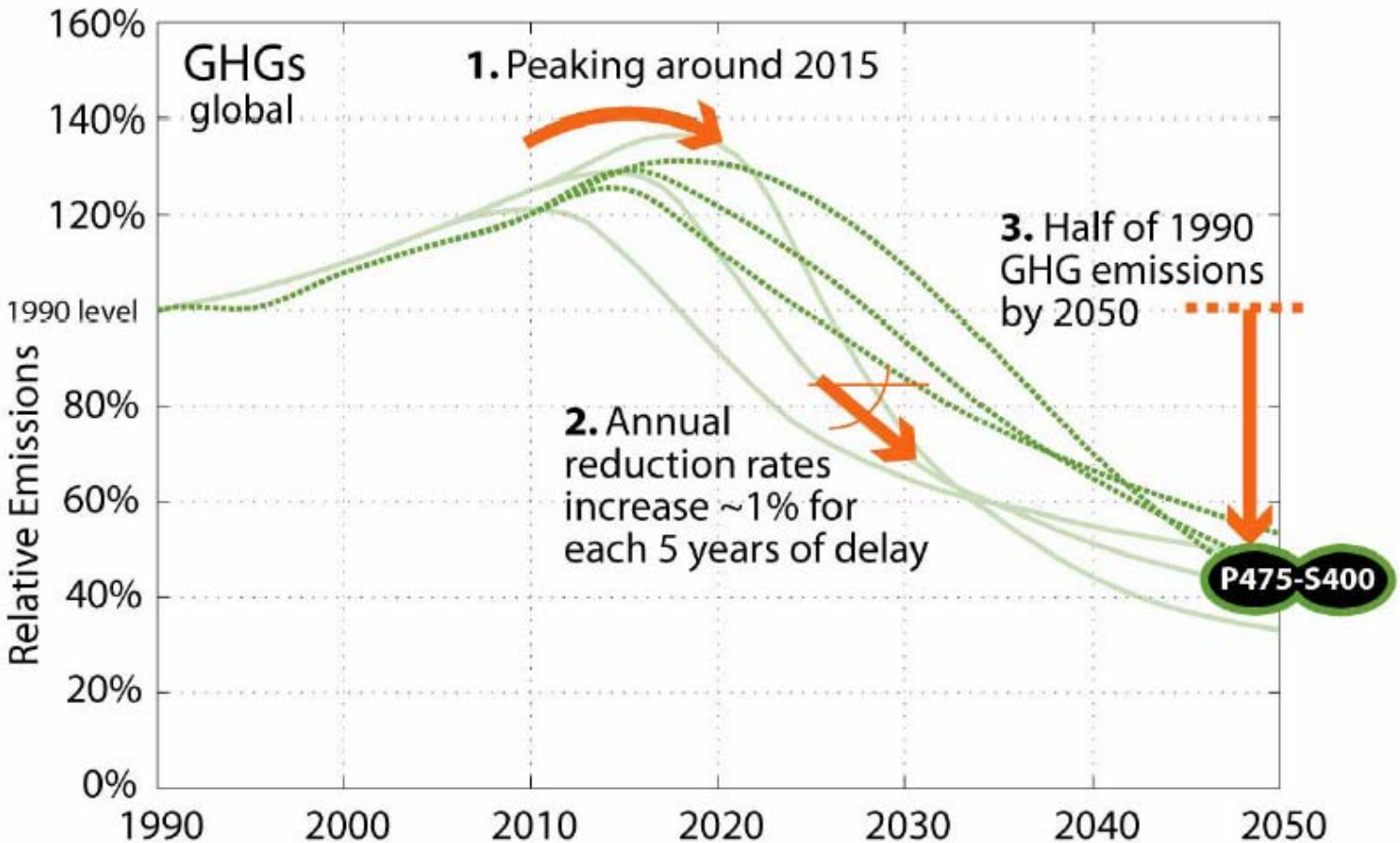
(Meinshausenら, 2005)



・　オーバーシュートせず400ppm安定化を達成するのは非常に困難だが，一旦早い時期に475ppm程度まで濃度が上がったとしても，その後すみやかに濃度を下げれば，そのまま475ppmを継続した場合に比べて，かなりリスクを減らすことが出来る．

例4　排出削減のタイミング

排出削減の開始時期を5年ないし20年遅らせた場合、遅らせない場合と同程度の気温変化確率を達成するためには途中から急激な排出削減が必要になる



一旦475ppmにオーバーシュートさせた後に400ppmに落とす「P475-S400シナリオ」と同等の2℃超過確率を，削減開始時期を遅らせた場合に得るための排出パス